

米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員（米海兵隊ウェブサイトにから）

集団的自衛権閣議決定案

武力行使 無限

政府の判断で



安倍政権が、集団的自衛権行使を可能にする憲法解釈変更の閣議決定を強行しようとしています。閣議決定案は、日本への武力攻撃がなくても「国民の権利が根底から覆され

る明白な危険」がある時には集団的自衛権を行使するとしています。これをもって「限定」と言いますが、「明白な危険」かどうかを判断するのは時の政府です。

秘密保護法で真相知らされず

政府の判断のもとになる「情報を明らかにせよ」と国民が求めたら、秘密保護法で「それは秘密です」に。

国民にも国会にも真相が知らされないまま、時の政権の裁量で武力行使の範囲はどこまでも広がります。

たたかいはこれから 歴史的暴挙に反撃を

「戦争しない国」から「海外で戦争する国」への大転換を、与党だけの密室協議で強行するなど憲法破壊のクーデターにも等しい行為。

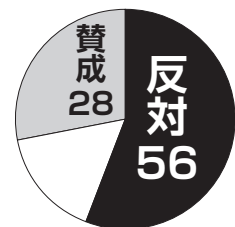
隊を「戦闘地域」に送ることはできません。そのための法律が必要であり、息の長いたたかいになります。戦後日本のあり方を根底から覆す歴史的暴挙に力をあわせ反撃しましょう。

しかし一片の閣議決定だけで自衛

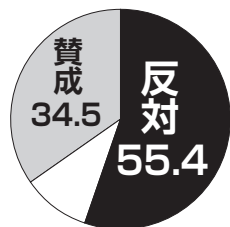
世論調査 「反対」過半数

憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認には、新聞各社の世論調査で過半数が反対です。

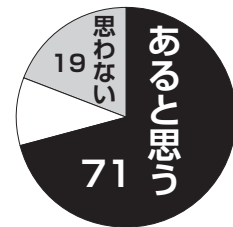
集団的自衛権



朝日新聞(6月23日付) 共同通信(6月21、22日実施)



他国の戦争に巻き込まれる恐れ



毎日新聞(6月29日付)

憲法破壊のクーデター許さない

解釈で9条こわすな

半世紀にわたる国会審議で形成・定着した憲法解釈を一内閣の閣議決定だけで変更し、憲法9条をなきものにする——立憲主義の否定には、自民党の元幹事長ら、立場を超えて反対の声が大きく広がっています。

加藤紘一元自民党幹事長「集団的自衛権の行使容認をすれば、米国の要請で自衛隊が、地球の裏側まで行くことは十分に想定されます」「集団的自衛権の議論は、やりだすと徴兵制古賀誠元自民党幹事長「戦争をしない国になるということが戦後政治の原点」「それを、こんな短期間の政党阪田雅裕元内閣法制局長官「海外で武力行使しないことが9条の核心。」



まで行き着きかねない」(「しんぶん赤旗」日曜版5月18日付) 間の駆け引きで決着をつけるというのは、無責任すぎる」(雑誌『世界』7月号) 集団的自衛権の行使容認は、9条を削除するのと同じだ」(「東京」)

加藤紘一元自民党幹事長のインタビューを掲載する「しんぶん赤旗」日曜版

集団的自衛権の行使容認に 反対します

日本共産党

内閣総理大臣 安倍晋三殿

【要望事項】

憲法解釈の変更による 集団的自衛権の行使容認を行わないこと

氏名	住所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 お手数ですが、この署名は、最寄りの共産党事務所にお届けいただくか、下記にファックスしていただくようお願いします。日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115